

第4回卒業生キャリアアンケート結果



グロービス経営大学院

GRADUATE SCHOOL OF MANAGEMENT, GLOBIS UNIVERSITY

アンケート結果のまとめ

グロービス経営大学院を卒業した回答者の90.3%が、MBAを取得した後、社会人としてのキャリアに「ポジティブな変化を経験した」と回答している。なかでも回答ランキングの内訳トップは「年収が増加した」というものだ。実際に、MBA取得後の年収は平均で28.0%上昇、卒業から10年以上経過している学生に至っては、72.6%もの上昇をしている。経済的価値に限らない昨今の多様なキャリア観に照らしても、希望の社内異動／転職、そして起業を実現している卒業生が合計67.1%存在していることから、グロービスMBAがキャリアの実現に大きく寄与していることが窺える。特に、「創造と変革」あるいは「経営に近いポジション」を担っているという回答者が88.5%、また所属企業で役員以上の役職を任されている方の構成比が大幅に増加（7.6%→21.7%）していることから、卒業生が経営人材・ビジネスリーダーの役割を担っていることが確認できる。

学費や時間など投じたコストに対するリターンを実感している卒業生は、回答者の83.9%を占める。リターンを実感するまでの期間は、「在学中から既に」という方が22%、「卒業後3年以内には」という方が73%となった。リターンには、金銭面に加え、機会（チャンス）の獲得が含まれていることがコメントから窺える。

処遇・キャリア以外にの人生全般に目を向けると、回答者の89.2%がポジティブな変化があったと答えている。変化の具体的な内容は、「学び続ける習慣ができた」「人生の選択肢が増えた」「積極的に行動するようになった」「信頼・尊敬する人間関係が広がった」など、この先の時代を豊かに生きるために不可欠な要素が目立つ。

ビジネス環境が激変し、キャリアチェンジを前提に一生涯働き続け、AI・ロボティクスに業務が代替されていくようなこれからの時代に、グロービスMBAが有益だと考える回答者が95.5%となった。回答者のコメントからは、「自らビジネスを創造する経営能力」「徹底的に自分の頭で考え抜く姿勢」「最新知や専門的支援が得られる組織を越えたネットワーク」「自分の可能性を信じられる自己信頼」「変化の原動力としての志の確立」を得られたことが、先行き不透明な激動の時代を生き抜く自信となっていることが窺える。

<調査概要>

- 調査実施日（回答可能期間）：2018年4月25日（水）～2018年5月23日（水）
- 対象者：グロービスオリジナルMBAプログラム（グロービス経営大学院の前身プログラム）、およびグロービス経営大学院を2017年3月までに卒業した方全員
- 調査方法：インターネットによるアンケート形式
- 配信数と回答率：配信数（対象者数）2,753、回答1,258（回答率46%）
- 集計N数 全体集計N=1,258 / 20代集計N=146

卒業後のキャリアの変化は？

ポジティブな変化

90.3%

卒業生の 90.3% が処遇・キャリアの面でポジティブな変化を経験。

3ページへ

役員以上の割合
(入学時→現在) の変化は？

7.6%

21.7%

全体的な傾向として入学時と比較すると役員以上の割合が約3倍となっている。

5ページへ

年収の変化
(入学時→現在) は？

72.6%UP

卒業から 10 年以上経過している回答者に至っては平均で 72.6%もの上昇をしている。

6ページへ

年収の増加額は？

年収増加額

300万円以上

300 万円（学費相当額）以上、年収が増加した人の割合は全体の 41% を占めている。

6ページへ

リターンを実感するまでの時間

3 年以内

73%

回答者の 73% が投じたコストに対するリターンを卒業後 3 年以内までに実感している。

7ページへ

キャリアにおける有益度は？

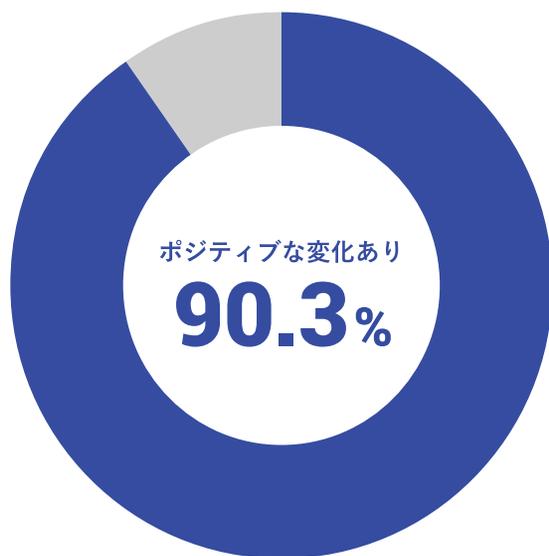
95.5%

回答者の 95.5% が、ビジネスもキャリアも激変するこの時代においても、グロービス MBA が有益だと回答している。

9ページへ

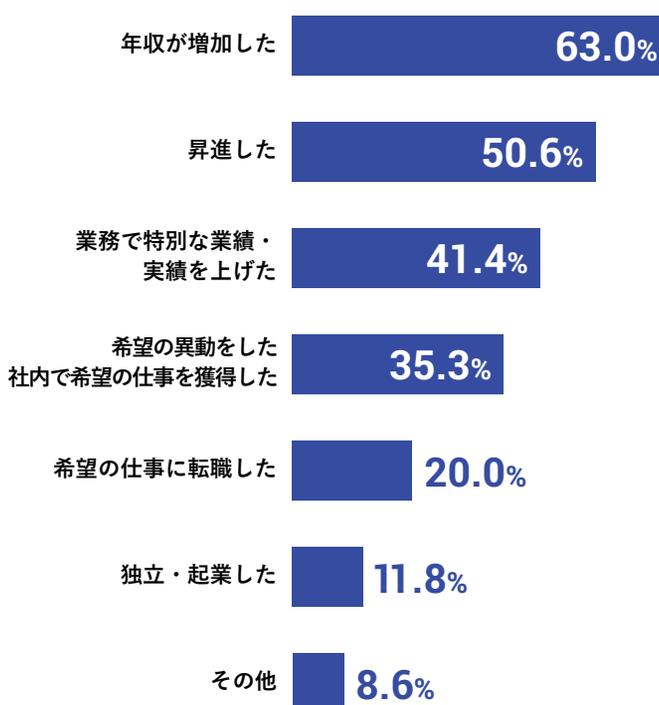
卒業後のキャリアの変化は？ (n=1,258)

● 処遇・キャリア上の変化



- 処遇・キャリア面でポジティブな変化あり
- 大きな変化なし

● 良い変化があった方の回答内訳 (複数回答可)



※複数回答形式。パーセンテージは回答者全体を母数とした比率

● 回答者のコメント

生産部門の部門長から、事業部長を飛び越えて、事業本部長に。その後、卒業と同時に取締役副社長になり、経営全般を束ねるようになった。ひとえに、上位レイヤーの課題を取りに行き解決を繰り返した結果だと認識している。

(シナジーマーケティング株式会社 取締役副社長 奥平博史 大阪校 2017年卒業)

MBAのスキルとITの経験を買われ、楽天、マイクロソフト、アマゾンやドワンゴにヘッドハンティングされた。今は、ほぼ経営陣の一部として仕事を出来ている。

(株式会社ドワンゴ 第二サービス開発本部 副本部長 各務茂雄 東京校 2012年卒業)

経営企画部長として新規事業を立ち上げ、その後スピンオフして起業した。起業後、ベンチャーキャピタル等から、4億円以上の資金調達に成功した。

(FLENS株式会社 代表取締役社長 大生隆洋 東京校 2010年卒業)

入学時は経営企画部の課長補佐。M&A責任者として課長に昇進、自ら買収を手掛け子会社化した米国企業に赴任。帰国後は次長に昇進し欧米事業の責任者。その後休職してアフリカで経営コンサルタントとしてボランティアに従事。帰国後は経営企画部に復職し、経営戦略グループ長に就任。

(塩野義製薬株式会社 経営戦略本部 経営企画部 経営戦略グループ長 竹内幹也 大阪校 2009年卒業)

大阪本社の事業開発のスピードに課題感を感じ、シリコンバレー起点の事業開発を提言、リードプロジェクトを実践した。現在は、北米新事業組織の責任者として事業開発と組織構築を担当しており、プロセスも自社正式承認され、部門の他テーマにも展開され始めた。

(パナソニック株式会社 メカトロニクス事業部 主幹(北米新事業担当) 中村雄志 大阪校 2016年卒業)

- ・他社との合併という大きな環境変化のタイミングに合わせて、一営業職から(経営企画職の強い)事業企画部門に移動となった。
- ・グロービスでの学びを活用し、社の環境変化に合わせた様々なPMI関連の施策(事業推進・連携促進・事業開発・人材育成・ステークホルダー対策等)を企画・実施した。
- ・異動後1年弱で昇進し同部署の管理職となった。
- ・現在は、再度の再編やM&A等にも関わり、更に経営関与におけるステージが上がっている

(株式会社JTB コミュニケーションデザイン 営業企画部営業企画局営業企画課 課長 黒崎秀将 東京校 2015年卒業)

5名程度のチームのマネジメントから、数百名が所属する部署の日本のすべてをマネジメントするポジションに異動、その後昇進した。
(アマゾンジャパン合同会社 Alexa データサービス部 シニアマネージャー 小林明尚 仙台校 2016年卒業)

卒業後、能力を評価されグループ全体を管轄する経営戦略室を新設してもらい、各種提案・提言の実行を任せてもらった。会長、社長が上司であり、グループの経営戦略や多面的な課題など、優先度合いの高い事業企画や事業提携などを担当させてもらえるようになった。
(株式会社エフティグループ JASDAQ 上場 グループ経営戦略室 上級執行役員 村井達朗 東京校 2012年卒業)

マーケティング活動実績が認められ執行役員へ昇進し、リブランディングと社内変革を社長提案した結果、希望する営業企画を行う営業戦略統括部へ異動できた。
(日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社 営業戦略統括部 執行役員部長 小山典孝 東京校 2016年卒業)

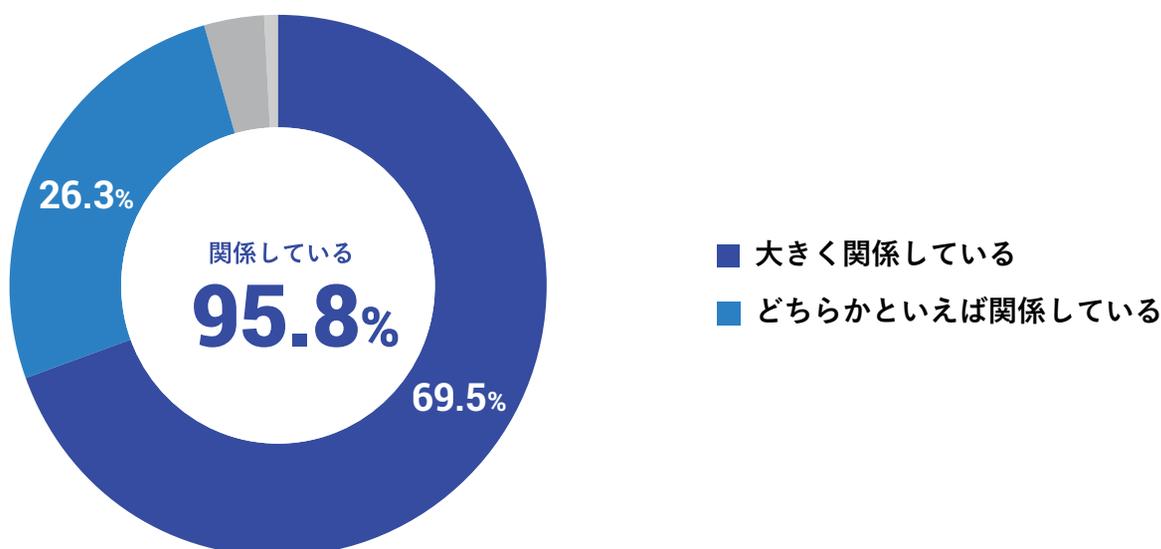
マクドナルドのV字回復を推進。その後マクドナルドから異業種のメルカリに転職後、未経験の人事関連担当の執行役員に抜擢された。
(株式会社メルカリ Corporate Division VP of People & Culture 唐澤俊輔 東京校 2015年卒業)

営業部長として、部門改革を提案、約3年で実現し営業部長から専務取締役役に就任。その後、全社の事業構造改革を提案、約3年で実現し代表取締役社長就任。衰退業界の事務機販売会社を着実な成長が見込める中小企業専門のIT 商社への変革に取り組んでいる。
(浅間商事株式会社 経営本部 代表取締役社長 柳沢太一 東京校 2016年卒業)

現在携わっているAI 開発においては研究内容を技術だけでなく、その価値を語らなければ上層部が判断できないと考え、ビジネスの視点をしっかり考慮して研究開発を進めた結果、その成果を役員に認められ、転職後1年で昇格した。
(日産自動車 総合研究所 課長代理 田中康裕 大阪校 2016年卒業)

回答者の90%以上に処遇・キャリア面でポジティブな変化があった。過半数を超える回答者が「年収が増加した」「昇進した」と回答。また、「希望の異動をした、または社内で希望の仕事を獲得した」「希望の仕事に転職した」「独立・起業した」を選択した回答者は合計で67.1% (35.3%+20.0%+11.8%) を占め、全体として変化を起こし希望のキャリアを獲得していることが窺える。

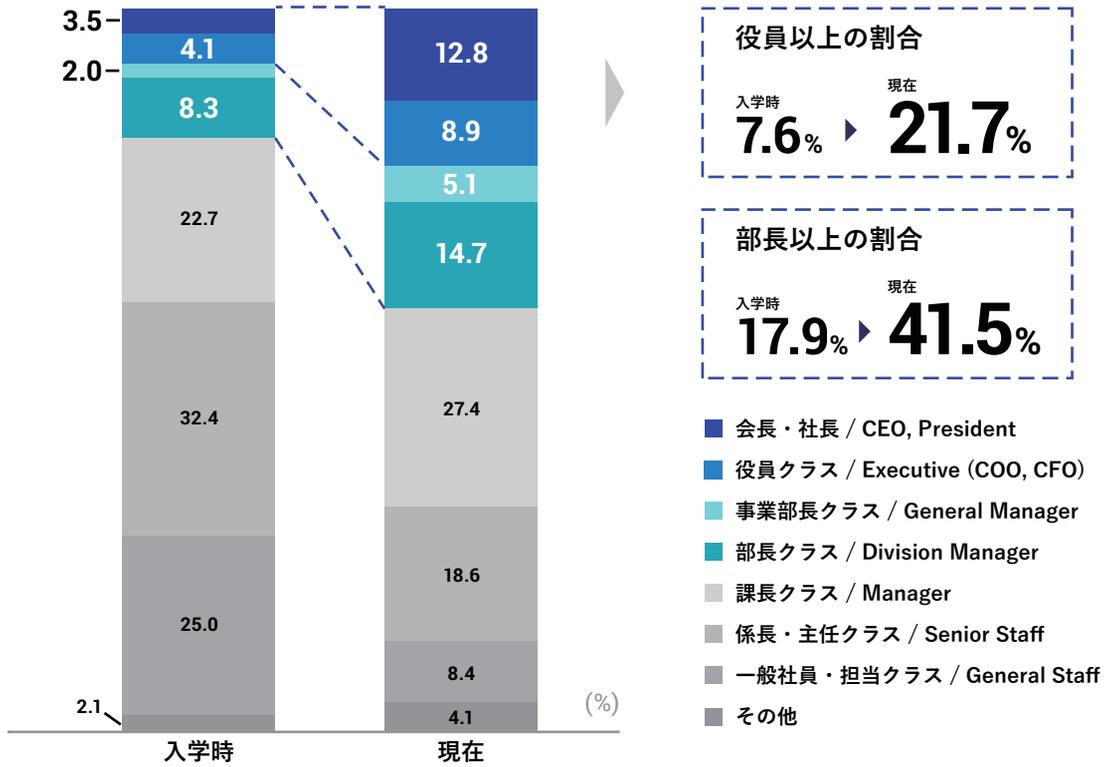
●グロービス MBA のキャリア変化への関与



回答者の95.8%が、キャリアの変化にグロービスのMBAが関係していると答えている。約70%近くの回答者が「大きく関係している」と答えており、多くの卒業生がグロービスで学んだことにより、キャリアにポジティブな変化がもたらされた実感を持っていることが窺える。

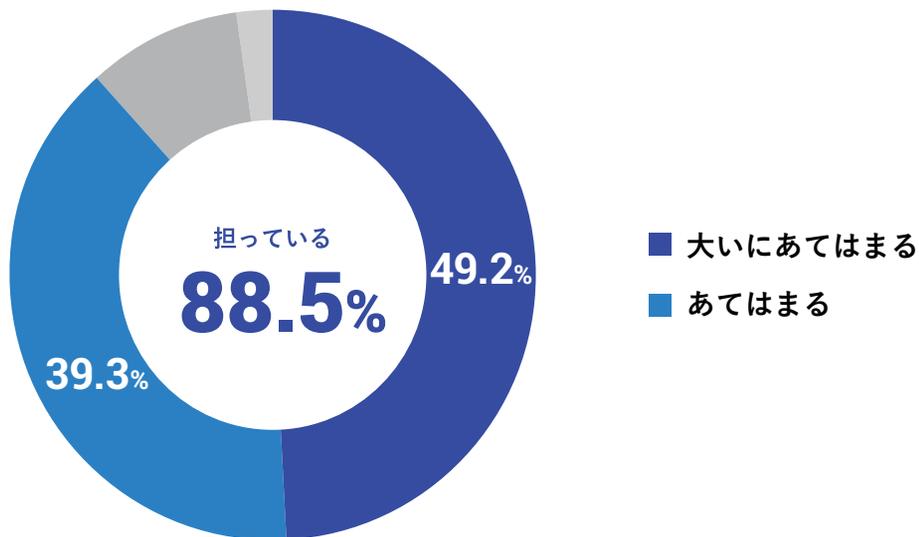
役職、年収の変化は？ (n=1,258)

●入学時の役職と現在の役職の変化



全体的な傾向として、入学時から現在で、より上位の役職に就く方の比率が高まっている。特に経営に直結するポジションである「役員以上(会長・社長／役員クラス)」の割合に着目すると、7.6%から21.7%と上昇している。また部長以上では、17.9%から41.5%と大幅な上昇が見られる。より多くの卒業生が組織を牽引するリーダー的な役割・ポジションを担っていることが窺える。

●「創造と変革」あるいは「経営に近いポジション」を担っているのか？



回答者の88.5%が、創造と変革あるいは、より経営に近いポジションを担っていると答えている。『社会にダイナミズムを起こす創造と変革の志士を輩出する』というグロービス経営大学院の教育理念を体現する卒業生の挑戦と活躍が窺える。

●入学時の年収と現在の年収の変化



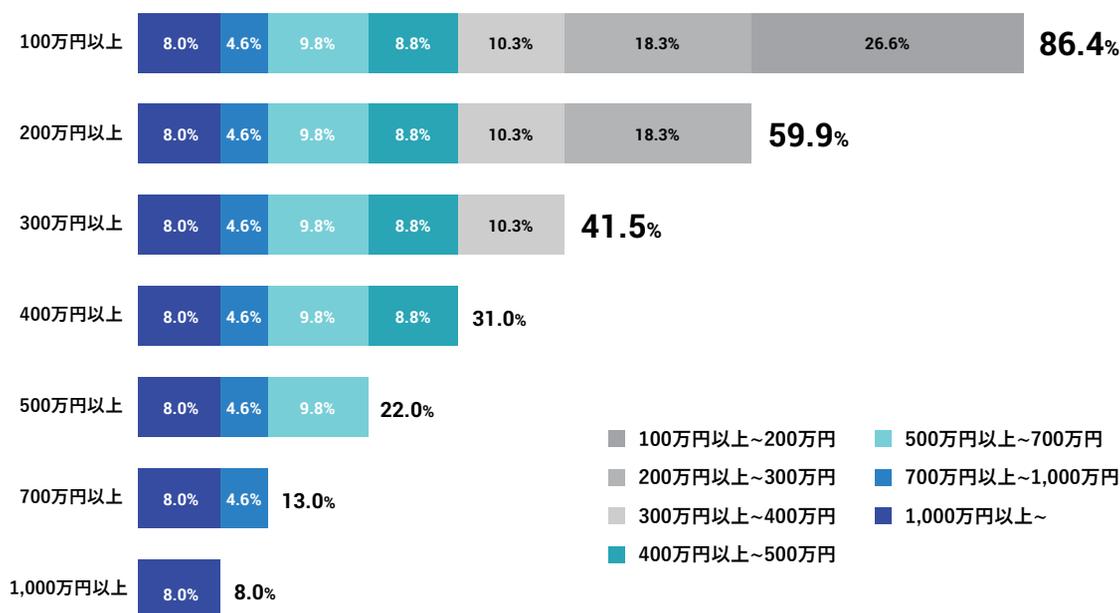
卒業後平均 3.6 年が経過した回答者の年収は、平均 28.0%の上昇が見られた。卒業から 5 年以上経過している 2013 年以前の卒業生は平均 48.3%、さらに卒業から 10 年以上経過している 2008 年以前の卒業生は平均 72.6%もの上昇となった。卒業生の卒業時の平均年齢は 39.6 歳（2018 年度日本語プログラム卒業生、687 名）で、35 歳から 44 歳がボリュームゾーンである。アンケート回答時年齢が 35 歳から 39 歳までの平均年収の増加率平均は 35.0%、40 歳から 44 歳までは 27.4%であった。仮に DODA 集計（※）による年齢ごと平均年収の差分を同年代ビジネスパーソンの年収増加とした場合、35 歳から 39 歳では 7.1%、40 歳から 44 歳では 5.8%であり、グロービスの卒業生では各年代で約 5 倍の大きな上昇率を示す。

スムーズな年収増が難しい経済環境や、独立・起業への挑戦や NPO 法人・ベンチャー企業への転身など経済的報酬を優先しないキャリアチェンジが目立つなかでも、グロービスの卒業生の年収は大幅な増加傾向にある。

参考：ビジネスパーソンの年収増加率

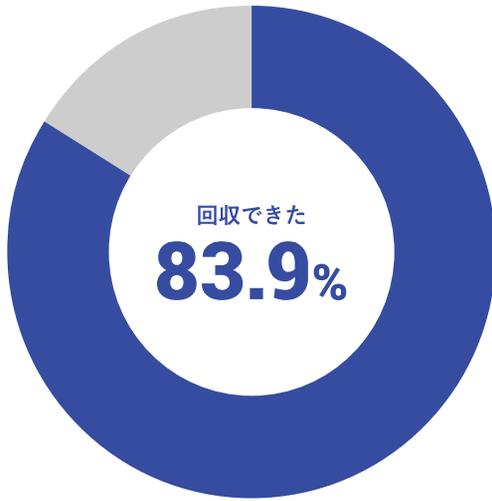
転職サービスの DODA が 2017 年 8 月、20～59 歳のホワイトカラー系職種の正社員男女、約 29 万人を対象に平均年収を調査したところ、35 歳では 468 万円、39 歳では 501 万円、40 歳では 513 万円、44 歳では 543 万円という結果でした（※）。転職サービス DODA 「平均年収ランキング 2017」より

●「年収が増加した」人の増加額の分布



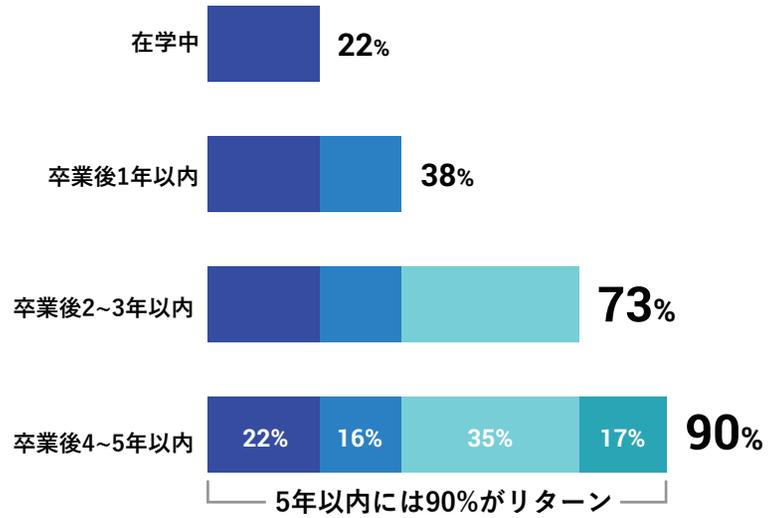
「年収が増加した」と答えた回答者のうち、100 万円以上増加した人は全体の 86.4%を占めている。300 万円以上は 41.5%、500 万円以上は 22%、そして 1,000 万円以上は 8%を占める。数 100 万円単位の大規模な年収増が見られることから、ポジションやキャリアのダイナミックな変化、あるいは継続的な高い評価を得られていることが想定される。

●投じたコスト（学費や時間等）に対するリターン



- 回収できた
- まだ回収できていない

●リターンを実感するまでの時間



- 在学中
- 卒業後1年以内
- 卒業後2~3年以内
- 卒業後4~5年以内

●回答者のコメント

いつかは、と思っていたグローバルな世界に卒業後すぐに異動できた。
(エノテカ株式会社 国際事業部 次長 岩寄晃 東京校 2016年卒業)

グロービスの縁による転職と、転職後の業務で成果を残すことを通じ、年収が向上した。
(株式会社ドワンゴ Dwango Cloud Service 部 技術部長 菊本洋司 東京校 2012年卒業)

人材市場での価値が定量的（給与）にも定性的（認知）にも大きく変化した。具体的なオファーもいくつかもらうことができ、会社にすぎるのではなく、会社を通じて社会に貢献したいという想いが強くなった。
(株式会社凸版印刷 経営企画本部戦略投資推進室 係長 坂田卓也 東京校 2016年卒業)

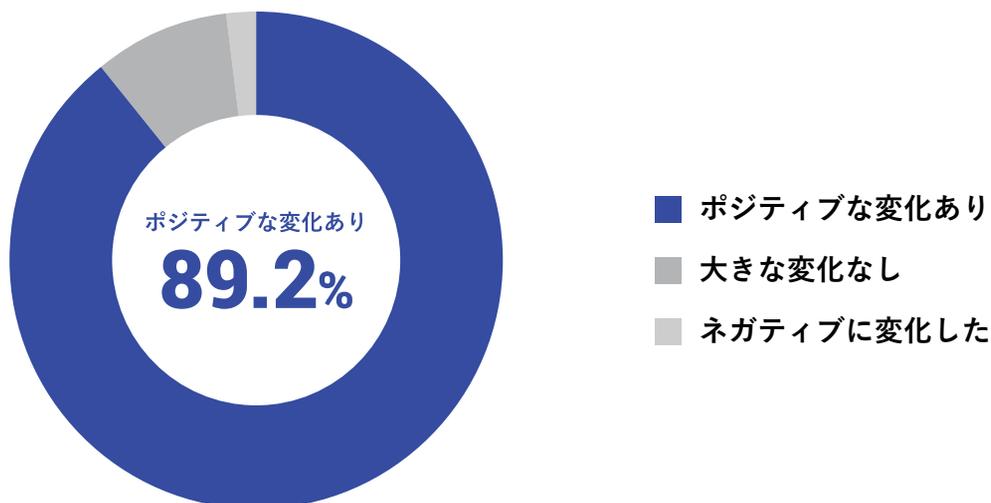
プレイヤーの立場で実績を早期に積むことができ、社内でも役員・経営層からダイレクトに意見・提案を求められるケースが増え、昇格・昇給が特急で進んだ。更にマネージャー昇格後もグロービスでの学びを活かすことで、マネージャーとして評価され、益々ダイナミックな仕事に取り組める好循環に入ることができた。
(ソニービジネスソリューション株式会社 ※ソニー（株）より出向 メディアソリューション営業部 統括課長 酒井大輔 東京校 2012年卒業)

転職によって年収が上昇し、学びへの投資は1年少しで回収できた。自分への評価の高まりや、自分がやりたかった、不確実性が高く会社としてのナレッジが少ないチャレンジングで面白い案件にアサインしてもらえるようになったことでも投資を十分に回収できたと実感している。まだまだ30年以上職業人生が続くが、これからはリターンしかないと思う。
(EYアドバイザー・アンド・コンサルティング株式会社 シニア 長島由晃 東京校 2014年卒業)

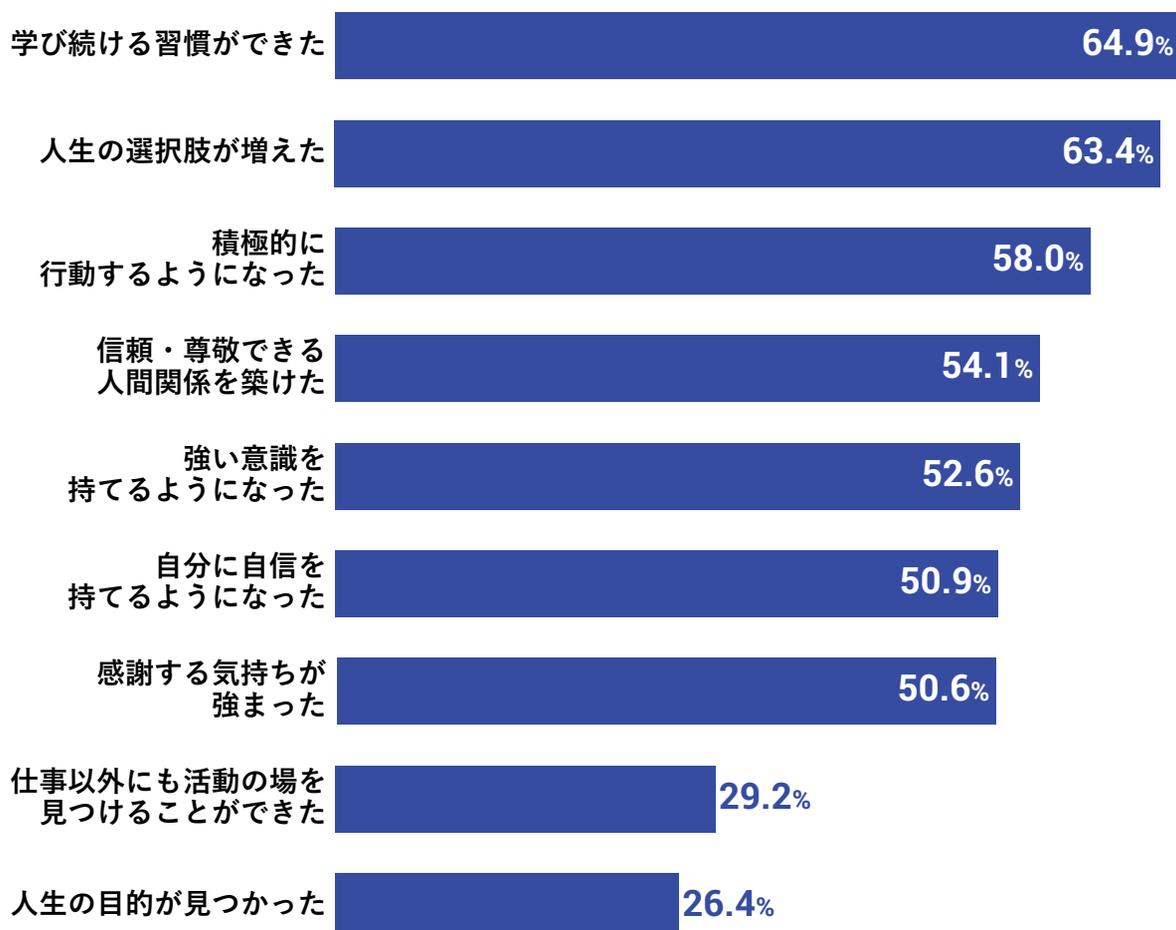
回答者の83.9%が学費や時間など投じたコストに対するリターンを実感していると答えている。リターンを実感するまでの期間は、在学中から既に実感した人が22%、卒業後2～3年以内で73%、卒業後4～5年以内では90%であった。遅くとも卒業後5年以内には、回答者の75.5%（83.9%×90%）が投じたコストに対するリターンを実感している。コメントからは金銭面に加え、機会（チャンス）の獲得に大きなリターンを実感していることが窺える。

処遇・キャリア以外の変化は？ (n=1,258)

● 処遇・キャリア以外の変化



● ポジティブな変化の回答内訳 (複数回答可)

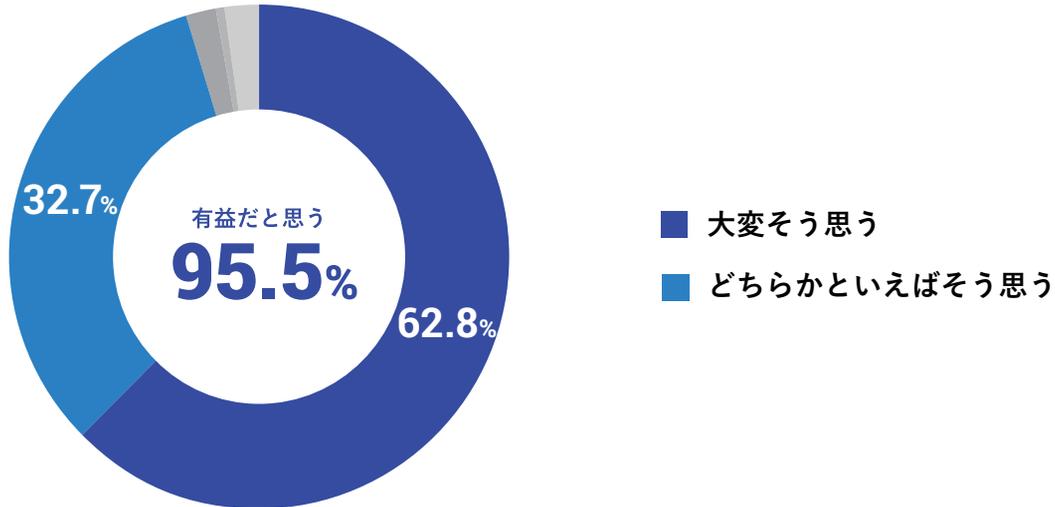


※複数回答形式。パーセンテージは回答者全体を母数とした比率

回答者の 89.2%が、処遇・キャリア以外の人生全般においてポジティブな変化があったと答えている。具体的な内容からは、グロービス MBA プログラムを通じて人生の選択肢が広がっていることが窺える。確固たる自己と自己信頼、自らをアップデートし続ける学習習慣と行動力、そして感謝でつながる信頼のおける人間関係などの獲得がそれを支えているのではないかと推測される。逆にネガティブに変化したコメントとしては、「楽しいと思えることが増えた、優秀な同窓生と自分を比較して落ち込むことが増えた」とあり、思い悩んだ様子もうかがえる。

今の時代※におけるグロービス MBA の有益度

(※) 平均寿命の伸長に伴い、複数回のキャリアチェンジを前提に生涯に渡り労働を続ける時代。多くの業務を AI・ロボットが代替していく等、ビジネス環境の変化が激しい時代。



●回答者のコメント

特定の企業で、同じような事業に携わっていると視野狭窄に陥ってしまう。グロービスで学ぶことにより、情報取得の感度が高くなった。意識的に業界外の知へ触れようとする意識を持つことができた。また、グロービスに集まってくる人たちは多種多様であるため、成長意欲の高いグロービスの仲間と話すことにより最新の知識を得られる。今後、ビジネス環境の変化が増々激しくなる中では、常に自分をアップデートをする必要があり、仲間と触れあうことによって知が得られる事は大きい。また、テクノロジーが発達しても、世界がどんなに変わっても「人間」はそんなに大きくは変わらない。グロービスの MBA を通じて「人間とは」という根本について考える事ができ、その思想が今後も生きると考えている。

(朝日新聞社 ASA事業開発部 主任 安藤翔一 東京校 2017年卒業)

前職の会社でも様々な経験ができたが、それでも1つのキャリアとしてしか捉えられなかった。グロービスでの学びを経て転職。新たなキャリアを作り上げることができた。さらに今後は3本目のキャリアを築いていこうと考えている。ビジネス環境が激変するこの時代において、グロービスで学んだことが自信に繋がっている。

(株式会社クニエ SD&M シニアコンサルタント 久保彩 オンライン 2017年卒業)

グロービスに入学するまでは、自分のキャリアは会社にコントロールされてしまう部分が大きく、放逐されないようにスキルを磨く必要があるという認識を持っていた。しかし、入学後は志高く、熱い思いを持った仲間に触発され、キャリアは自分自身で舵を切るもの、舵を切ることは十分に可能であることに気づいた。多くの同級生が入学時には予想していなかった仕事に就き、転職や起業をしている。彼らの活躍する様子を目にすることで、自分にも技術や環境の変化に適応し、他人のために役に立つことができると自信がついた。

(メーカー 事業企画 M.Tさん 名古屋校 2010年卒業)

グロービスでの学びは、今の業務において、クライアント企業の社長・役員・部長・課長などの方々とは会話をする際に、経営目線での視座や、戦略的思考、財務的知識などが大いに役立っている。また、この学びの習慣を維持することで、今後の環境変化などの激変があったとしても生き抜いていけるという自信を持っている。さらに、志、リーダーシップなどは、Robotics (単純作業の正確かつ高速かつ長時処理) や AI (認知・学習・思考・判断) が台頭してきたとしても容易にとって代わられるものではない。非常に貴重な経験・学びを得ることができた。

(株式会社ベイクレント・コンサルティング コンサルティング本部 ディレクター 松浦孝英 東京校 2017年卒業)

入学時に働いていた会社では、世の中の動きに関してしっかりとアンテナを張って行動ができていた人を見当たらず、自分自身も感度は高めていたつもりでも、やはり狭い世界での行動や判断しかできていなかった。しかし、良質なネットワークを得た現在では、友人から情報や学びを得ることが多く、以前とは比較にならないくらいの解像度で世の中の動きを把握できるようになったし、何か動こうと思った時にはその方面に秀でた人が必ずと言ってよいほどネットワークの中に入るので、活動範囲も広がり、意図せずとも行動力が各段に強くなった。

(株式会社参謀s 代表取締役社長 日高義雄 名古屋校 2014年卒業)

回答者の95.5%が、ビジネス環境も個人のキャリアも激変するこの時代においても、グロービス MBA が有益だと回答している。回答者のコメントからは、「自らビジネスを創造する経営能力」「徹底的に自分の頭で考え抜く姿勢」「最新／専門知が得られる組織を越えたネットワーク」「自らの可能性を信じられる自己信頼」「変化に翻弄されない軸としての志」などを得られたことが、先行き不透明な激動の時代を生き抜く自信となっていることが窺える。

あなたにとって、グロービス MBA の価値は何か？

●回答者のコメント

『経営者としての能力だけではなく、人間力の向上』です。経営者としての考え方やスキルを体系的に学んだ結果、ビジネスに対するレベルは格段にアップしました。更には経営者としてだけではなく、自分自身のこれまでの生き様、これからの生き方や志、そして世の中や社会に対して自分は何をしたいのかが、よりはっきりと自信をもって認識できるようになりました。今はその実現に向けて日々実践しているところです。

(株式会社 Kings Know 取締役副社長 河野浩和 東京校 2015 年卒業)

人は変われる。自分が変われたのだから皆も変われると思うようになり、自分と他人と事業と企業の可能性を心の底から信じられるようになった。

(ベンチャー 経営層 Y.T さん 東京校 2017 年卒業)

踊り場に来ていたキャリアを、次のステージへ押し上げるターニングポイントになった。自分の可能性を信じること、そして自分に自信を持つことを学んだ。

(響きパートナーズ株式会社 コンサルタント 高橋瑞穂 東京校 2017 年卒業)

自分を深く見つめなおす期間。信頼できる仲間と繋がることができた貴重な時間。今後の人生を有意義に過ごすための知恵とスキルを身に着ける時間。

(アステラス製薬株式会社 事業開発部 Manager 西浜秀美 東京校 2017 年卒業)

会社の中ではなく、社会の中で生きていくために必要なスキルとマインドを醸成できた場所。

(コンサルティング 説田巧 東京校 2014 年卒業)

グロービスで過ごした2年半は、「あなたは何をしたいのか?」「それを実現できるのか?」を強烈に問われた場所であり、時間だったと思います。何を学んだのかと問われたら「本当に答えるべき良質な問いの立て方」、何を磨いたのかと問われたら「使命感と覚悟」、そして、何を得たのかと問われたら「人のつながり」と答えるでしょう。思考の幅の広さと深さを与えてくれ、「やりたい」と思ったことを「できる」と思わせてくれたグロービスという学び舎と教員と仲間から感謝しています。

(株式会社わらわら 本社 執行役員 COO 古橋哲朗 東京校 2017 年卒業)

入学前よりも視野が広くなり、物事を多角的に見られるようになった。これまで培ってきた社会・公益分野の視点に加えて、ビジネス領域の視点が加わったことにより、より現実感のあるものの見方ができるようになった。これまでの人生は極端に言えば、きれいごとだけで過ごしていたように思える。グロービスで学んだことで、理想と現実のバランスを捉えながら、仕事ができるようになった。

(一般財団法人 社会的投資推進財団 代表理事 青柳光昌 東京校 2013 年卒業)

ビジネスパーソンとしての出発点であり、ビジネスの共通言語を学んだ。グロービスで学んだからこそ、世界のビジネスパーソンを相手に仕事ができるようになった。

(株式会社 LIXIL Synergy Creation Office グローバルシャフトイレ開発ワークストリーム ワークストリームリーダー 中山裕司 名古屋校 2010 年卒業)

リーダーになる覚悟が芽生えた場所。在学中、常に自分と向き合ってきたことで、また他者からの自己分析と素直に向き合ってきたことで、周囲の人を尊重することができるようになり、自然と謙虚さが生まれた。

(株式会社アシックス IT 統括部 ソリューションデリバリー部部长 川瀬好彦 大阪校 2014 年卒業)

リスタートを切るための、発射台となった。「自分の可能性を信じる」というマインドが生まれ、変化を恐れず進む自身が芽生えた。「あそこまで勉強して、自分を追い詰められたのだから、何が起ころうとも大丈夫だ。自分なら乗り越えられる」という自信につながっている。

(DRONE PILOT AGENCY 株式会社 代表取締役 上野豪 東京校 2017 年卒業)

中小企業診断士の資格を取得し、コンサルティングファームでコンサルティングの実務を学び、それを活かして事業会社で経営企画を担当。実務能力には自信を持っていました。しかし、グロービスで学んだことで、自分の強みを再認識すると同時に、不足しているところが明確となり、自信と謙虚さを持って仕事に臨むようになりました。グロービスは、自分の立ち位置を測るための基準を与えてくれました。

(トヨタ自動車九州株式会社 経営企画部 経営企画室 GM 浜口比呂光 福岡校 2017 年卒業)

経営知識の修得やビジネススキルの向上だけでなく、グロービスの特徴である「人間力を磨く」「信念をもったリーダーとなる」「社会に貢献する」「自らの可能性を信じる」といった「ビジネスリーダー」として生きる上で必要なマインド、姿勢、自己理解、視座の高まりなど、内面の成長に言及した内容が多かった。

卒業後の変化 アンケート結果（20代）

グロービス経営大学院に20代で入学し卒業した回答者の94.5%が、MBAを取得した後、社会人としてのキャリアに「ポジティブな変化を経験した」と回答している。なかでも回答ランキングの内訳トップは「年収が増加した」というものだ。実際に、MBA取得後の年収は平均で52.9%上昇、卒業から5年以上経過している学生に至っては、105.0%も上昇している。経済的価値に限らない昨今の多様なキャリア観に照らしても、希望の社内異動／転職、そして起業を実現している卒業生が合計82.2%存在していることから、グロービスMBAを20代という社会人早期に学ぶことがキャリアの実現に大きく寄与していることが窺える。特に、「創造と変革」あるいは「経営に近いポジション」を担っているという回答者が92.5%と大半を占め、また所属企業で役員以上の役職を任されている方の構成比が大幅に増加（5.5→21.9%）していることから、卒業生がキャリアの早いタイミングから既に経営人材・ビジネスリーダーの役割を担っていることが確認できる。

学費や時間など投じたコストに対するリターンを実感している卒業生は、回答者の83.6%を占める。リターンを実感するまでの期間は、「在学中から既に」という方が16.4%、「遅くとも卒業後3年以内には」という方が70.5%となった。リターンには、金銭面に加え、機会（チャンス）の獲得が含まれていることがコメントから窺える。（※詳細はグロービス経営大学院サイトに公開）

処遇・キャリア以外の人生全般に目を向けると、回答者の91.1%がポジティブな変化があったと答えている。変化の具体的な内容は、「人生の選択肢が増えた」「学び続ける習慣ができた」「積極的に行動するようになった」「信頼・尊敬する人間関係が広がった」など、この先の時代を豊かに生きるために不可欠な要素をキャリアの早期に獲得していることが確認できた。

ビジネス環境が激変し、キャリアチェンジを前提に一生涯働き続け、AI・ロボティクスに業務が代替されていくようなこれからの時代に、グロービスMBAが有益だと考える回答者が97.3%となった。回答者のコメントからは、「自らビジネスを創造する経営能力」「徹底的に自分の頭で考え抜く姿勢」「最新知や専門的支援が得られる組織を越えたネットワーク」「自分の可能性を信じられる自己信頼」「変化の原動力としての志の確立」を得られたことが、先行き不透明な激動の時代を生き抜く自信となっていることが窺える。

卒業後のキャリアの変化は？

ポジティブな変化

94.5%

卒業生の94.5%が処遇・キャリアの面でポジティブな変化を経験。

12ページへ

役員以上の割合
(入学時→現在)の変化は？

5.5%

21.9%

全体的な傾向として入学時と比較すると役員以上の割合が約4倍となっている。

13ページへ

年収の変化
(入学時→現在)は？

105% UP

2013年以前の卒業生に至っては、平均で105%もの上昇をしている。

13ページへ

年収の増加額は？

年収増加額

300万円

300万円（学費相当額）以上、年収が増加した人の割合は全体の47.4%を占めている。

14ページへ

キャリアにおける有益度は？

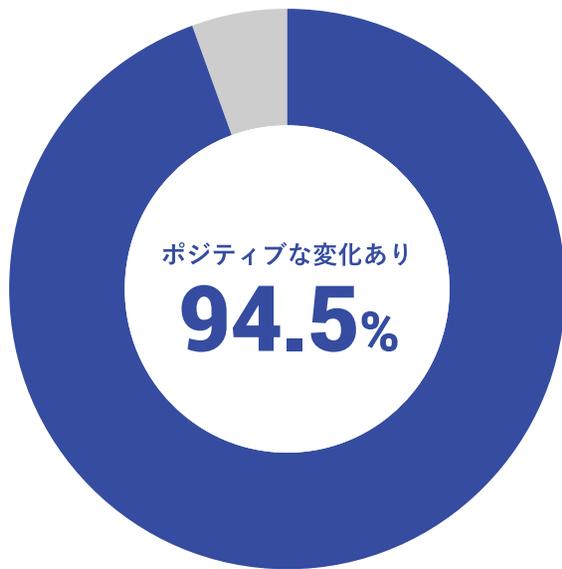
97.3%

回答者の97.3%が、ビジネスもキャリアも激変するこの時代においても、グロービスMBAが有益だと回答している。

14ページへ

[20代] 卒業後のキャリアの変化は？ (n=146)

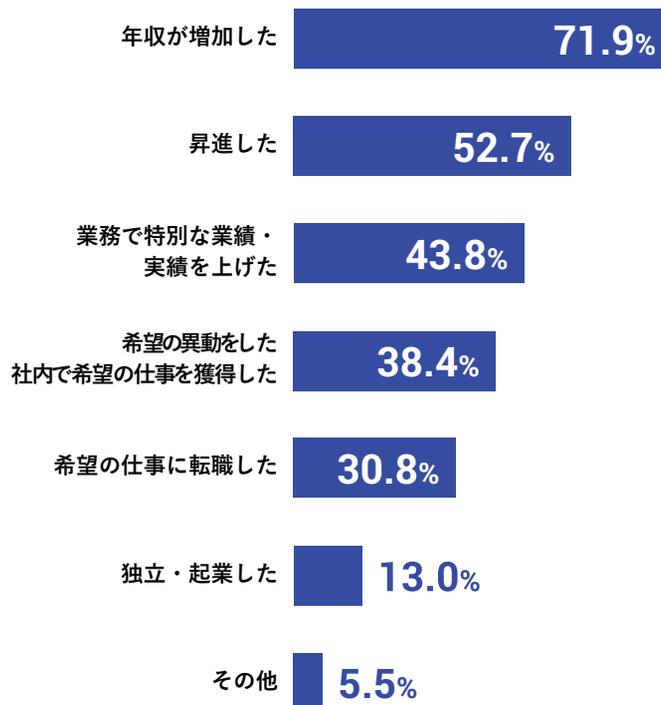
● 処遇・キャリア上の変化



■ 処遇・キャリア面でポジティブな変化あり

■ 大きな変化なし

● 良い変化があった方の回答内訳 (複数回答可)



※複数回答形式。パーセンテージは回答者全体を母数とした比率

● 回答者のコメント

入学時は4名のチームリーダー、卒業5年後は常務取締役事業本部長になり、社内起業して子会社の社長兼務。卒業8年後に起業。オーナー起業家として、年商約3億規模まで三期で成長させることができた。

(株式会社 PASIO 代表取締役社長 岡崎富夢さん 東京校 2007年卒業)

営業担当時代、新規営業所立ち上げメンバーに選抜された。その後、期間限定でマーケティング担当部門のサポート業務を担った際、その部門のリーダーからぜひ来てほしいと声がかかり、マーケティング部門へ異動。その後、次期主力製品の全社横断プロジェクトに抜擢され、外資系コンサルティングファームと協業。前例のない取り組みを担うことができた。

(塩野義製薬株式会社 医薬事業本部 課長補佐 岩松慎一郎さん 大阪校 2011年卒業)

卒業後、食品業界内で転職。開発職からマーケティング職へとキャリアをチェンジすることができた。また、今年度はじめに、社内公募制度を利用し、ホールディング会社間の異動で、プロダクトマネージャーとして管理職に抜擢された。

(日清食品冷凍 マーケティング部 2G プロダクトマネージャー 市川文登さん 東京校 2013年卒業)

新組織を立ち上げる機会をもらい、LINE 広告事業の大きな転換期を、経営目線を持って進めることができた。

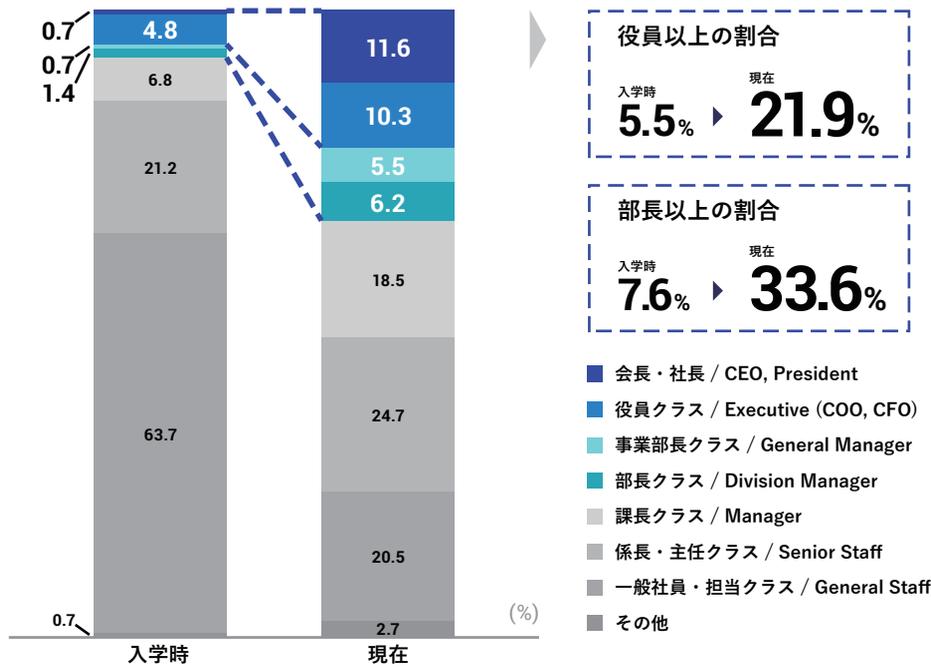
(LINE 株式会社 秋山直紀さん 名古屋校 2015年卒業)

2007年にグロービスに入学し、2008年事業企画に社内異動。2010年に卒業し、2010年から新規事業企画をスタートさせた。2011年から現部署に異動し、新領域のイノベーションを開始。2013年に全社中長期提案コンテストで最優秀賞獲得(テーマ:海外)。2017年に、再び全社中長期提案コンテストで最優秀賞獲得(テーマ:水産)。2018年にマネージャーに昇格。

(富士通株式会社 デジタルビジネス戦略推進統括部 ビジネスイノベーションセンター マネージャー 小葉松知行さん 東京校 2010年卒業)

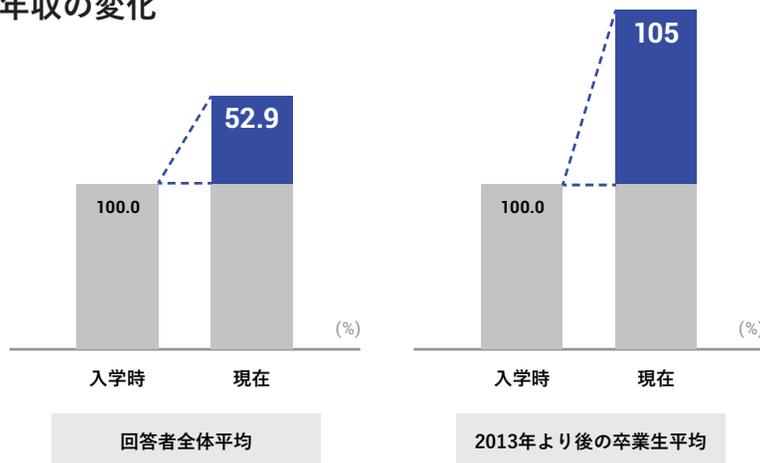
[20代] 役職、年収の変化は？ (n=146)

●入学時の役職と現在の役職の変化



全体的な傾向として、入学時から現在で、より上位の役職に就く方の比率が高まっている。経営に直結するポジションである「役員以上（会長・社長／役員クラス）」の割合に着目すると5.5%から21.9%、部長クラス以上では、7.6%から33.6%と大幅に増加している。20代から経営を体系的に学ぶことで、30代に訪れたチャンスを活かし、多くの卒業生が経営に近いポジションを担っていることが窺える。

●入学時の年収と現在の年収の変化



※有効回答から算出 / 入学時の年収を100%とする

卒業後平均3.8年が経過した回答者の年収は、平均52.9%の上昇が見られた。卒業から5年以上経過している2013年以前の卒業生は平均105.0%、約2倍の上昇幅となった。

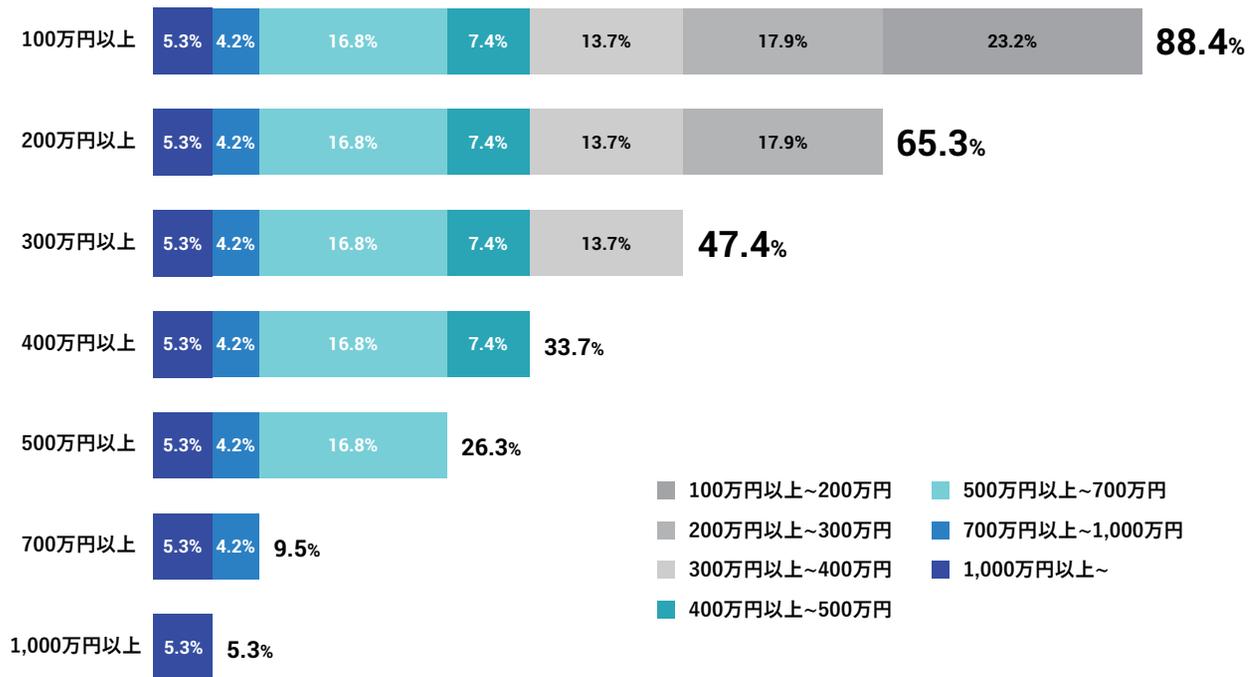
標準在学期間は2年、卒業後平均経過年数は前述のとおり3.8年であるため、入学から約6年経過していることになる。仮にDODA集計(※)による27歳と33歳の平均年収の差分を同年代ビジネスパーソン6年間の年収増加とした場合、20.2%である。それに比較してグロービスの卒業生は52.9% (約2.6倍) と、大きな上昇率を示していると考えられる。キャリア早期の自己投資が、結果的に大きなリターンを生み出していることが窺える。

参考：ビジネスパーソンの年収増加率

転職サービスのDODAが2017年8月、20～59歳のホワイトカラー系職種の正社員男女、約29万人を対象に平均年収を調査したところ、27歳では376万円、33歳では452万円という結果でした(※)。

転職サービスDODA「平均年収ランキング2017」より

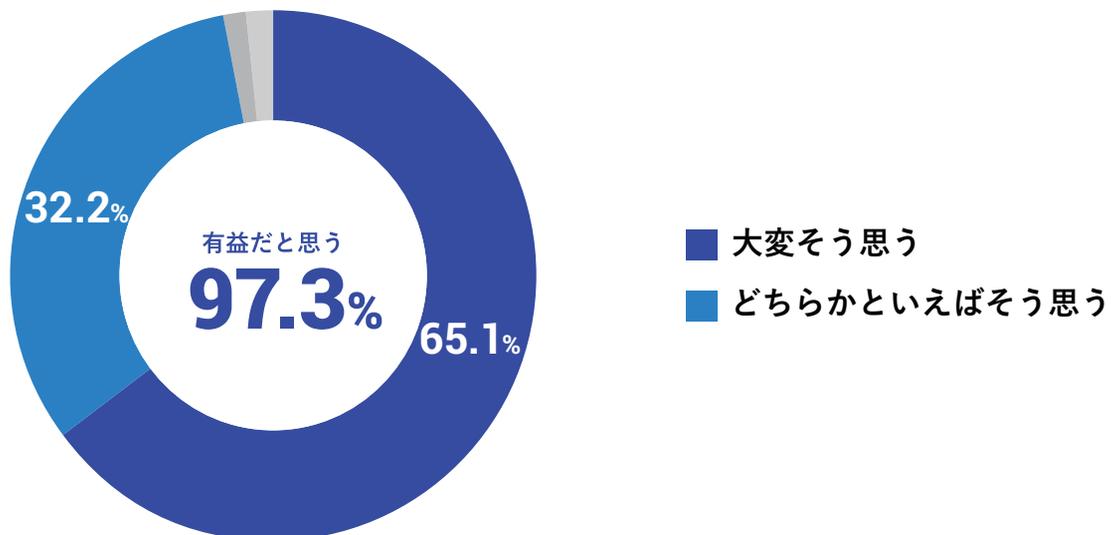
●「年収が増加した」人の増加額の分布



「年収が増加した」と答えた回答者のうち、100万円以上増加した人は全体の88.4%を占めている。300万円以上は47.4%、500万円以上は26.3%、そして1,000万円以上は5.3%を占める。数100万円単位の大規模な年収増が見られることから、ポジションやキャリアの大きな変化、あるいは継続的な高い評価を得られていることが窺える。

[20代] 今の時代※におけるグロービス MBA の有益度

(※) 平均寿命の伸長に伴い、複数回のキャリアチェンジを前提に生涯に渡り労働を続ける時代。多くの業務をAI・ロボットが代替していく等、ビジネス環境の変化が激しい時代。



回答者の97.3%が、この先訪れる人生100年時代においても、グロービスMBAが有益だと回答している。コメントからは、「経営の原理原則や思考力など普遍性の高い能力」「卒業後も自分をアップデートし続けられるコミュニティ資産」「変化の時代でもぶれない軸(志)」などをグロービスMBAから獲得できたことが、大きな自信と原動力になっていることが窺える。



グロービス経営大学院

GRADUATE SCHOOL OF MANAGEMENT, GLOBIS UNIVERSITY